

富士見市立針ヶ谷小学校 ○自分で考える子○助け合う子○じょうぶな子



針 小 だより

令和6年5月1日

第2号(5月号)

学校教育目標に向かって

～自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子～

やよい広場の桜の木の新緑がまぶしい中、先日「1年生を迎える会」が行われました。2年生と手をつなぎながらの入場。2年生が学校のお兄さん、お姉さんとして優しくリードする姿にほほえましくなりました。「はじめまして」の全員合唱と6年生からの歓迎の言葉。6年生が実行委員を中心に「わくわくレンジャー」に変身して、針ヶ谷小学校がわくわくいっぱいの学校であることを伝えていました。早くも学校のリーダーとして、頼もしい姿が見られました。

さて、本校の学校教育目標は「自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子」です。6年間の学びを経て目指す子供たちの姿です。「1年生を迎える会」の行事を通して、子どもたちが学校目標に向かって、すくすく成長している姿を実感しました。「自分で考える子」自分たちで考え、新たな発想ができる6年生。「助け合う子」まだまだ不安な1年生の気持ちに寄り添い、優しく接する2年生。「じょうぶな子」体育館いっぱいに響き渡る全員合唱から伝わる、心も体もじょうぶで、たくましく育っている全校の子どもたち。

将来の予測が困難な時代を生き抜いていくために、針ヶ谷小の6年間で、自ら考え、他者のよさを理解・尊重しながら協働し、心も体もじょうぶでやり抜く力を育んでいきます。

この学校教育目標を学校・家庭・地域が目標を共有し、一体となって子供たちを育んでいけるよう、今年度もお力添えどうぞよろしく願いいたします。

(校長 本木 千穂)

○自分で考える子

→ 自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子

○助け合う子

→ 多様な集団の中で、他者のよさを理解・尊重し、協働できる子

○じょうぶな子

→ 心も体もじょうぶで、やり抜く力のある子

※ 学校経営方針・学校グランドデザインも合わせて、ご覧ください。